

第30回埼玉の自然フォトコンにご応募を！ 締切り 11月15日(日)

いよいよ「私が見つけた埼玉の自然フォトコンテスト」の季節がやってまいりました。今年は第30回記念展ということで、記念賞を設けたほか会期中に記念講演を予定しています。

第8回「まつりフォト」にご応募を！ 締切り 12月15日(火)

いよいよ「まつりフォトコンテスト」応募の季節がやってきました。今年から、応募要項(チラシ)を一新、最優秀賞に副賞として賞金5万円を新設しました。また応募料の申込みが、従来のゆうちょ銀行からの定額小為替による支払いから、振込口座への直接振込み方式に変更され、応募しやすくなりました。「まつり」は日本文化の源流であり、民族のエネルギーの源泉でもあります。

祭りの行事そのものはもちろん祭りに触れ合う人々のさまざまな表情を切り撮るまつりフォトは見る人に大きな感動を呼び起こします。埼玉県は毎週どこかで祭りが催されている秩父があるようにまつりの盛んなところ。有名な祭りに限らず、地元の人たちだけで伝えられてきた小さな祭礼まで、写真をご応募されるようお願いいたします。

第32回埼玉県写真サロン

第32回埼玉県写真サロンは皆様のご協力により盛大に開催されました。今年のお応募は563点と過去最高(前年は473点)となりました。ご協力ありがとうございました。また会員外のお応募は111点あり、県本部のサロン展が埼玉県の中で公募展として一般の写真愛好家の中で定着しつつあるように見受けられます。9月6日(日)に表彰式が行われ、朝日新聞さいたま総局長の各務茂さんから展示作品を見て、写真撮影のタイミングを待つ努力の結果、被写体との一期一会、巡り合いを感じるというご挨拶をいただきました。審査を担当された写真家の齊藤康一さん、総本部理事の戸井田武彦さん、ニコンイメージングジャパンの木元秀樹さんの上位入賞作品の講評がありました。続いて県本部顧問の各先生から全入賞作品について講評が行われ、さながら表彰式が一大勉強会のような熱気に包まれました。閉会には、お互いに今後精進をつづけて、また来年この会での再会を楽しみましょうというあいさつで締めくくりとなりました。 以下入賞者一覧

「さいたま市長賞」	小林千津子
「埼玉県議会議長賞」	保科幸裕
「埼玉県教育長賞」	門倉 一
「さいたま市議会議長賞」	堀江 正次
「さいたま市教育長賞」	堀之内稔

(堀之内さんは3回入賞で招待者となります) 準特選

特選

「埼玉県知事賞」 (ニコン賞)	船生 利雄
「全日写連関東本部長賞」	上原 やす史
「朝日新聞さいたま総局長賞」	神立 雅春
「全日写連埼玉県本部長賞」	内山 妙子
「全日写連埼玉県本部委員長賞」	池田 義和